

# J:COMチャンネルが市民TVを紹介



県民公論のYouTube版「さいたま市民テレビ」の取り組みが、2月8日放送のJ:COMチャンネル(11番)の地域密着型人気番組「ジモト応援! つながるNEWS」で紹介されました。

## ■J:COMチャンネルでの紹介、MC=河内優美子アナウンサー

「さいたま市民テレビ」(平成26(2016)年11月開設)をご紹介します。現在コロナ禍で自宅にいる時間が多く外に出る機会が減っているとおもいますが、このテレビをみればさいたま市の魅力や情報を存分に知ることができ地域とつながることができます。

さいたま市民テレビは無料動画サイト「YouTube」を利用したインターネットテレビです。さいたま市内を中心に地元で開かれる季節の行事やイベントなどを独自に取材。「住んでよかったさいたま市」をテーマにした様々な動画を配信しています。

井出哲由 市民テレビ局長は、なんとネタ探しから取材交渉、そして、撮影・編集・公開までを行っているそうです… スキルが高過ぎませんか? 今では、取材依頼が来るほど人気が高まっているそうです。

井出局長に今後の夢を伺うと「市内10区全てに支局を開設して、より細かく、より温かく、行政と市民の懸け橋になるようなテレビ局を目指したい。」とのこと。皆さんも是非、チェックしてみてくださいね!

**さいたま市民TV**  
 県民公論の YouTube  
 どんなことでも取材いたします!  
 情報は下記のメールから、お気軽にどうぞ  
 Kenminkoron@sea.plala.or.jp



Anniversary 20th  
 さいたま市 20周年 ともに

# KenminKoron

市民と市政のかけはし

## 市長施政方針演説 令和3年さいたま市議会2月定例会

県民公論 第1080号  
 〒330-0073 浦和区元町1-6-12-101  
 TEL.048-762-7515 FAX.048-762-7623  
 さいたま市地方記者クラブ  
 〒330-9588 さいたま市役所本庁舎2階  
 kenminkoron@sea.plala.or.jp

# 市誕生20周年に新たな挑戦!

## ■さいたま市民憲章・市民の日を制定

本市は今年、誕生から20周年を迎えます。人間で言えば成人を迎えるこの大きな節目の年に、市民の皆様思いを込めた市民憲章\*を制定し、市民の日\*を定めるとともに、市民の皆様と共に未来に向かって決意を新たにしていいため、20周年を記念する様々な取組を進めてまいります。

## ■市役所の新都心移転を目指す

本庁舎整備の検討につきましては、「合併協定書」、「さいたま市本庁舎整備審議会の答申」を尊重しつつ、全市的なまちづくりの観点を踏まえ、総合的検討を進めてまいりました。大宮駅周辺の「商業」、浦和駅周辺の「文教」という強みを両輪とし、さらに、本市の中央に位置し、さいたま市合併の象徴でもあるさいたま新都心周辺に本庁舎を整備し、両都心の機能をより充実させ、2つの都心の一体性を高め、4つの副都心とのつながりをより深めていくことで、東日本の中枢都市にふさわしい魅力あふれるさいたま市に発展していけるものと考えております。

まず、本庁舎整備の方針につきましては、現庁舎に係る現況調査の結果なども踏まえ、合併30周年を目前に「さいたま新都心バスターミナルほか街区」への移転を目指します。



## ■さいたま市の新時代に向けて

- 感染症を克服し、真に災害に強い レジリエントシティ\*1を目指す
- さいたま市の新たな未来を拓く挑戦のスタート
- 新たな時代を見据えた行政の在り方の刷新
- 令和3年度の主な事業
- 新型コロナウイルス感染症と自然災害の対策
- さいたま市誕生20周年を契機に

## ■関連する事業

- 新時代に対応した行政運営とDX\*2の推進
- 新たな未来を拓く取組
- 1.自然と共存する環境未来都市の創造
- 2.スマートウェルネスシティ\*3の創造
- 3.日本一のスポーツ先進都市の創造
- 4.日本一の教育都市の創造
- 5.東日本の未来を創る対流拠点都市の創造
- 6.あらゆる世代が輝けるまちづくり
- 7.「未来技術」で躍動する地域産業づくり
- 8.市民と共につくる安全・安心なまちづくり
- 9.サステナブル\*4で快適な暮らしの実現
- 10.絆で支え合い、自分らしく暮らせるまちづくり
- 11.質の高い都市経営の実現

## ■新時代に向けた挑戦

さいたま市が市政の歴史において重要な節目を迎えようとしている今、私は引き続き「責任と共感・共汗」「徹底した現場主義」「公平・公正・開かれた市政」の基本姿勢を貫きながら、皆様と一層力を合わせ、本市の新時代に向けた挑戦に全身全霊で臨んでまいります。

今議会提出議案は67件。  
 補正予算が18件、新年度予算が18件、  
 条例議案が15件、一般議案が16件。

令和3年さいたま市議会 2月定例会  
 市長施政方針演説 令和3年2月2日



清水勇人 市長  
 コロンちゃんの  
 がいせつ  
 県民公論の  
 マスコット  
 コロンちゃんが  
 解説します。

\*「さいたま市民憲章(案)」と、「さいたま市民の日(案)」は3面に掲載しています。

\*1.レジリエントシティ= 少子高齢化・人口減少や自然災害などの社会的な課題に直面しても、素早く復興・回復し、さらに成長する能力と実力がある都市。

\*2. DX=デジタルトランスフォーメーションの略。ICT(コンピュータネットワーク)を活用して、市政を改革する。

\*3. スマートウェルネスシティ= 人々が健康(心身ともに幸せ)で、生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れる都市。

\*4. サステナブル= 理想的な市民サービスの持続という意味。

**ひとりで悩まず相談を!**  
 あなたの「不安や悩み」をお聞きしています  
 まずは お電話を **048-762-8548**  
 相談無料  
 さいたま市 こころの健康センター  
 子ども家庭総合センター(あいぱれっと)4F  
 〒330-0071 浦和区上木崎4丁目4番10号  
 最寄駅: JR京浜東北線 与野駅下車 東口から徒歩約8分  
 Photo: 井出

市民みんなのBIRTHDAY  
 さいたま市誕生20周年  
**県民公論 電子版**  
**さいたま市民TV**

**10色の虹 さいたま市民憲章**  
 「みんなちがって みんな良い」という「令和」の心が込められた、さいたま市民賛歌ができた◆さいたま市誕生20年目に刻まれた「さいたま市民憲章」◆「おおらかな荒川の流れ」から始まる「前文」は、本市の成り立ちと自然・街の特色を表現しながら、先人たちの功績をたたえる◆そのうえで、歴史を受け継ぎ発展させるという「温故知新」◆未来をひらく青少年の健全育成と自己研鑽◆思いやりと、ちがいを力にする協働◆山川草木すべてが幸せに輝く都市の創出と、朗らかに謳歌している◆市内10区の特色を力として、さいたま市に集う人々の夢と希望が、市民憲章という10色の虹として鮮やかに懸かった◆虹の言葉を実践の指針として活かしたい。(臣)




## 令和3年2月定例会代表質問

■議長:渋谷 佳孝 ■副議長:高柳 俊哉

■代表質問=議会内で政治的立場や信条が一致する議員の集まりである「会派」を代表して、市政全般について質問すること。

本会議場では開会日に、昨年12月に逝去された元大宮市長 新藤享弘氏と、今年1月に逝去された元浦和市長相川宗一氏の 本市貢献への勲功を称えて全員が黙とうを捧げました。

\*本紙では質問の一部を抜粋しています。  
\*会派名は質問時の名称です。



代表質問 2番2月8日 民主改革

### 若年がん患者在宅支援

**北 区**

**小川 寿士**  
Ogawa Hisashi

**Q【小川 寿士】** 在宅療養している若年がん患者に対する市長の認識や、制度創設に当たり検討してきたこと、制度内容について。

**A【市長】** 若年がん患者の在宅生活の、経済的な負担を軽減するため、今般、20歳から40歳を対象とした制度の創設に至った。

支援内容は、訪問介護や福祉用具貸与等、1か月あたりの上限額は、他政令市の6万円を上回る8万円とし、その9割を助成する。さらに、在宅医療支援の一環として、政令指定都市では初めて、主治医の意見書作成料を4千円まで助成することとし、来年度より実施する。引き続き、がん患者に寄り添った支援を行う。

代表質問 4番2月8日 さいたま自民党

### コロナ対策緊急「宝くじ」

**見沼 区**

**鶴崎 敏康**  
Tsurusaki Toshiyasu

**Q【鶴崎 敏康】** “夢をみることは 未来へつながっている”。コロナ禍対策として、医療機関・従事者、コロナによって困窮している人々を応援するための緊急「宝くじ」発売を。

**A【副市長】** 感染症対策の財源にすることを目的として宝くじを発売することは、売り上げの増加につながる効果が期待できるものとする。省令の改正については、国に要望していく必要があるが、そのためには宝くじの共同発売をしている都道府県や政令指定都市との協議が必須であることから、同団体で組織する全国自治宝くじ事務協議会に、これを提案する。

代表質問 6番2月9日 さいたま自民党

### 西部配水場の整備

**桜 区**

**土橋 勇司**  
Dobashi Yuji

**Q【土橋 勇司】** 市民にとって安心安全で安定した水道事業について、西部配水場(桜区神田)の今後の整備方針について。

**A【水道事業管理者】** 西部配水場は、築造から50年以上が経過し、法的耐用年数も間近に迫っているため更新に向けて検討を行っている。更新にあたっては、市民の皆さまへの安定給水への影響が多いことから、配水場施設を停止せずに、運転を継続しながら更新する必要がある。そのため、近傍地に仮設の代替施設を設置する方法や新規用地の取得など、水運用に影響を与えない手法を調査、更新の方向性について慎重に検討する。

代表質問 1番2月8日 民主改革

### 現庁舎跡地の在り方

**桜 区**

**阪本 克己**  
Sakamoto Katsumi

**Q【阪本 克己】** この地域に庁舎がなくなるといった市民の意識、あるものがなくなるといった反対意見は多くある。現庁舎地の跡地の在り方が一番大事という認識が進めるか。

**A【市長】** 庁舎の位置をどうするかという問題もあるが、これからのさいたま市、また、浦和のまちをどのように形成して、新しい時代に対応する持続可能な発展ができるまちをつかっていくのかという視点が最も重要な視点だと思う。この跡地がどのように活用され、まちづくりに寄与していくか、先人や住民の思いを汲み取りながら、民間の意見やノウハウなどを活用して、しっかりと検討していきたいと考える。

代表質問 3番2月8日 民主改革

### 包括的性教育の推進

**北 区**

**傅田 ひろみ**  
Denda Hiromi

**Q【傅田 ひろみ】** 性暴力・望まない妊娠を防ぐために、「国際セクシュアリ教育ガイダンス」を利用して包括的性教育を進めていくべき。

**A【教育長】** 国連の「国際セクシュアリ教育ガイダンス」は学校における性に関する指導を進める上で、大変参考になる。

教育委員会としては、こうしたガイダンスなどを子どもたちへの教育や、教職員の研修に利用することは効果的であると考えている。議員御指摘の、教職員の性犯罪については、言語道断、絶対に許されることではない。性に関する教育は生き方教育そのものであるという視点に立った教育をこれからも進める。

代表質問 5番2月9日 さいたま自民党

### 与野中央公園の整備

**中央 区**

**中島 隆一**  
Nakajima Takachi

**Q【中島 隆一】** ・与野中央公園に、障がいを持った子どもが利用できるユニバーサルデザイン(UD)遊具を設置してほしい。  
・中央公園調整池整備について。

**A【副市長】** ・与野中央公園は、様々な利用を供する総合公園として、多様な方々に利用していただくために、UD遊具の設置について検討する。  
・中央公園調整池の早期整備に向けて、県と設計及び費用負担について協議を進めている。昨年秋には、県において調整池の予備設計が完了した。本市においては、令和3年度に公園の一部造成工事に着手し、施設配置計画の検討を進める。

代表質問 7番2月9日 公明党

### バスタ大宮の誘致

**西 区**

**上三 信彰**  
Uesannobu Akira

**Q【上三 信彰】** 国が進める「バスタプロジェクト」の展開を踏まえ、本市の交通の要衝であり、GCS(大宮駅グランドセントラルステーション化構想)に位置付けられている「大宮駅」に、バスターミナルを誘致すべきと考える。

**A【市長】** 「東日本の玄関口『大宮』における交通節足機能の強化に向けた(仮称)バスタ大宮の整備」として、私自ら、令和2年10月に、国土交通省道路局長へ要望をした。現在、本市と国土交通省関東地方整備局が協働して、大宮駅の交通節足機能の強化に向けた調査をしている。今後、国をはじめ関係機関との更なる連携強化に取り組む。

代表質問 8番2月9日 公明党

### 福祉丸ごと相談センター

**岩槻 区**

**吉田 一志**  
Yoshida Hitoshi

**Q【吉田 一志】** 会派では、行政窓口における市民サービスの向上に資する提案をしてきたが、今後の方針を伺う。

**A【市長】** 今年度中に、約2,600件の窓口手続きの押印を廃止した上で、オンライン化を図る。令和3年度に、大宮区役所区民課と北部市税事務所市税の総合窓口で各種発行手数料のキャッシュレス決済施行導入を予定。3年度中に「おくやみコーナー」の実証実験を予定。「福祉丸ごと相談センター」は令和2年6月から浦和区役所でモデルケースとして実施。本事業につきましては、令和4年度から10区での実施をめざしている。

代表質問 10番2月10日 日本共産党

### 特別障害者手当の周知

**見沼 区**

**鳥羽 恵**  
Toba Megumi

**Q【鳥羽 恵】** 障害者手帳を取得せずに介護保険サービスを利用している方などへの特別障害者手当制度の周知が不足している。

**A【副市長】** 特別障害者手当制度においては障害者手帳の取得は必須としていない。これまで区役所支援課の窓口や、ホームページ、「さいたま市の障害者福祉ガイド」等において周知を図ってきたが、障害者手帳を取得せず、区役所支援課に足を運ぶ機会のない高齢者については、周知が課題となっている。

今後、高齢者支援のケアマネージャー等に対し本手当の案内を行い、市報やホームページ等を活用して制度の周知に努める。

代表質問 9番2月10日 日本共産党

### コロナ感染症対策

**北 区**

**神田 義行**  
Kanda Yoshiyuki

**Q【神田 義行】** 新型コロナ感染症対策における病院、療養施設の確保と自宅療養者に対する支援について。

**A【副市長】** 現在の確保病床数は、重症27床、軽症・中等症234床、市内宿泊療養施設171室を確保。2月1日現在の入院者数146人、宿泊療養者数95人、自宅療養者数904人となっている。

自宅療養者に対しては、食糧支援や医師・保健師等による毎日の健康観察で、感染症特有の症状の有無、パルスオキシメーターで測定した血中酸素飽和度値の確認等により必要な受診や入院調整ができる体制としている。今後も、現体制を維持する。

代表質問 11番2月10日 自民党市議団

### 4選へ党派等の距離感

**南 区**

**萩原 章弘**  
Hagiwara Akihiro

**Q【萩原 章弘】** 国策、本市の重要課題や政策の実現度、実行力を果たす上で自由民主党の政策に日本国は寄っている点について。

**A【市長】** 私は、県会議員の時には自由民主党の所属だった。市長選を経て、私自身は市長という立場であるので特定の党派に偏ることなく、多くの党派の皆さんと理念や施策を共有しながら進めていくことが、最も望ましいと考える。特に、政権与党である自由民主党、公明党の皆さんなど、多くの皆さんからご協力・応援を頂いて、これまでもさいたま市の様々な施策を実現することが出来たと考える。これからも、党派を超えて、市民のためにやっていく。

## さいたま市民憲章(案)

おおらかな荒川の流れと、見沼田んぼが豊かに広がる武蔵野のみどりにいだかれたさいたま市は、街道や鉄道のかなめとしてにぎわい、歴史をかさねてきました。先人たちはここに集い、学び、祈り、美しさと深い味わいをたたえた独自の文化を育て、教育やスポーツのさかんな風土を培ってきました。このまちを誇りとし、ともに時をかさねる私たちさいたま市民は、だれもが自分らしく生きてゆける社会を築きたいと願い、このまちを未来につなぐ確かな道しるべとして、ここにさいたま市民憲章を刻みます。

私たちは、

まちの歴史や伝統を受け継ぎ豊かにはぐくんで、明日の世代に伝えます。

小さいのちの大きな未来を信じて、子どもをみんなで支えてゆきます。

みずから学び言葉をみがき、新たな挑戦を志し、自分を耕しつづけます。

深く思いやり、広く理解し手をとりあって、ちがいを力にしてゆきます。

空も水も、草木も花も里山も、ともにある美しい都市を創ってゆきます。

## さいたま市民の日(案)

5月1日 \*平成13(2001)年にさいたま市政が始まった日

